

各位

2019年7月8日
エーザイ株式会社

気候関連財務情報開示タスクフォース「TCFD」提言に賛同

エーザイ株式会社(本社:東京都、代表執行役 CEO:内藤晴夫)は、このたび、気候関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures、以下「TCFD」)提言への賛同を表明しました。

「TCFD」は、G20 の財務大臣・中央銀行総裁からの要請を受け金融安定理事会(FSB)の下に設置された、民間主導による気候関連財務情報の開示に関するタスクフォースです。気候変動がもたらす「リスク」及び「機会」の財務的影響を把握し、開示することを狙いとした提言を公表しています。

詳細は、<https://www.fsb-tcfd.org/> (英語)のホームページをご参照ください。

当社は、中長期における気候変動の事業への影響を的確に捉えることで、「リスク」低減と「機会」創出に効果的に取り組みます。また、「TCFD」の開示フレームワークを活用することで、低炭素社会への移行に向けて積極的に貢献していくことを目指しています。今後さらに、分析・対応を進め、順次、情報開示を拡充していきます。

当社は患者様とご家族の喜怒哀楽を第一義に考え、そのベネフィット向上に貢献し、世界のヘルスケアの多様なニーズを充足することを企業理念と定めています。このヒューマン・ヘルスケア(hhc)理念のもと、気候変動への取り組みを強化し、社会の持続性確保に貢献してまいります。

以上